

十戒(じっかい) DEKALOG デカローグ The Ten Commandments



第一条 ~ 第四条：神に対する愛=人間と神の関係（神に対する私たちのあるべき関係）

第五条 ~ 第十条：人に対する愛=私たち人間同士の関係

イエス・キリストは、十戒を要約して二つの掟（愛の戒め）にまとめられました。

▶マタイによる福音書 22：37～40

イエスは言われた。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。

第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』

律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」

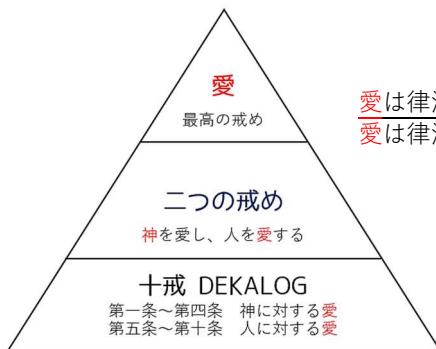
▶マルコによる福音書 12：29～31

イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』

第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」

▶ルカによる福音書 10：27

彼（ある律法の専門家）は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」



愛は律法を全うするものです（ローマの信徒への手紙 13：10b）。

愛は律法の完全なり（同、文語訳）。

愛とは、御父の掟に従って歩むことであり、

この掟とは、あなたがたが初めから聞いていたように、愛に歩むことです。

（ヨハネの手紙二 6 節）

十戒について、聖書（新共同訳、聖書協会共同訳）は、次のように記しています。

出エジプト記 20：1～17 黒文字：新共同訳 青文字：聖書協会共同訳

申命記 5：1～21 緑文字：新共同訳 茶文字：聖書協会共同訳

⑩十戒=DEKALOG:ギリシア語→deka (10) +logos (み言葉)

⑩ローマ・カトリック教会、ルーテル教会は、②の戒めを排除し(→偶像礼拝)、⑩の戒めを二つに分け、「十戒」としている。

01 神はこれらすべての言葉を告げられた。

01 それから神は、これらすべての言葉を告げられた。

01 (十戒をシナイ山で神より授かった) モーセは、全イスラエルを呼び集めて言った。イスラエルよ、聞け。今日、わたしは掟と法を語り聞かせる。あなたたちはこれを学び、忠実に守りなさい。

02 我々の神、主は、ホレブ (→シナイ山) で我々 (→イスラエルのすべての世代) と契約を結ばれた。

03 主はこの契約を我々の先祖と結ばれたのではなく、今ここに生きている我々 (→神に不満を言った人々は荒野の 40 年の間に死に絶え、今モーセと共にいる人々は新しい世代である) すべてと結ばれた。

04 主は山で、火の中からあなたたちと顔と顔を合わせて語られた。

05 わたしはそのとき、主とあなたたちの間に立って主の言葉を告げた。あなたたちが火を恐れて山に登らなかったからである。主は言われた。

01 さて、モーセはイスラエルのすべての人々を呼び集め、彼らに向かって言った。「聞け、イスラエルよ。私が今日あなたがたの耳に語る掟と法を。これを学び、守り行いなさい。

02 私たちの神、主は、ホレブで私たちと契約を結ばれた。

03 私たちの先祖とではなく、まさに私たちと、今ここで生きている私たちすべてと、主はこの契約を結ばれた。

04 主は、あなたがたと山で、火の中から顔と顔を合わせて語られた。

05 私はその時、主とあなたがたとの間に立ち、あなたがたに主の言葉を告げた。あなたがたが火を前にして恐れ、山に登らなかったからである。主は言われた。

02 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。

02 「私は主、あなたの神、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

06 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。

06 『私は主、あなたの神、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

→序文

03 あなたには、①わたしをおいてほかに神があってはならない。

03 あなたには、①私をおいてほかに神々があってはならない。

07 あなたには、①わたしをおいてほかに神があってはならない。

07 あなたには、①私をおいてほかに神々があってはならない。

→イザヤ書 44 : 6、44 : 8、45 : 5、45 : 21

【偶像崇拜の禁止】

04 あなたは②いかなる像も造ってはならない（→申命記 4 : 15～18、27 : 15～26、レビ記 26 : 1）。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。

04 あなたは②自分のために彫像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水にあるものの、いかなる形も造ってはならない。

08 あなたは②いかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。

08 あなたは②自分のために彫像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水にあるものの、いかなる形も造ってはならない。 **④カトリック等はこの戒めを排除している。**

05 あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神（→熱愛する神／ねたむ神：口語訳）である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、

05 それにひれ伏し、それに仕えてはならない。私は主、あなたの神、妬む神である。私を憎む者には、父の罪を子に、さらに、三代、四代までも問うが、

09 あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、

09 それにひれ伏し、それに仕えてはならない。私は主、あなたの神、妬む神である。私を憎む者には、父の罪を子に、さらに、三代、四代までも問うが、

06 わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

06 私を愛し、その戒めを守る者には、幾千代にわたって慈しみを示す。

10 わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

10 私を愛し、その戒めを守る者には、幾千代にわたって慈しみを示す。

07 ③あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはおられない。

07 あなたは、③あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主はその名をみだりに唱える者を罰

せずにはおかない。

11③ あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。 みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはおかない。

11 あなたは、③ あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。 主は、その名をみだりに唱える者を罰せずにはおかない。

→みだりに唱えてはならない：神の名を使って約束を破る、真実を言うと言って嘘を言う、呪いの言葉を神の名を引用する、魔術に神の名を使う等、レビ記 19：12

08④ 安息日を心に留め、これを聖別せよ。 →心に留め：ザーカル（ヘブライ語）思い起こす、思い出す
08④ 安息日を覚えて、これを聖別しなさい。

12④ 安息日を守ってこれを聖別せよ。あなたの神、主が命じられたとおりに。

12④ 安息日を守ってこれを聖別し、あなたの神、主があなたに命じられたとおりに行いなさい。

→安息日：創造主なる神と贖い主なる神を確認する日、安息日は週の七日目で、神が創造の仕事完成了た日を記念する。創世記 2：2～3

09 六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、

09 六日間は働いて、あなたのすべての仕事をしなさい。

13 六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、

13 六日間は働いて、あなたのすべての仕事をしなさい。

ローマ・カトリック安息日の変更理由

旧約時代には、安息日は土曜日に定められていましたが、教会はそれをイエズス・キリストの復活と聖霊降臨の日である日曜日に換えました。そのために、昔から日曜日は主の日（主日）と言われていました（カトリック要理）。

10 七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。

10 しかし、七日目はあなたの神、主の安息日であるから、どのような仕事もしてはならない。あなたも、息子も娘も、男女の奴隷も、家畜も、町の中にいるあなたの寄留者も同様である。

14 七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、牛、ろばなどすべての家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。そうすれば、あなたの男女の奴隷もあなたと同じように休むことができる。

14 しかし、七日目はあなたの神、主の安息日であるから、どのような仕事もしてはならない。あなたも、息子も娘も、男女の奴隷も、牛やろばなどのすべての家畜も、町の中にいるあなたの寄留者も同様である。そうすれば、男女の奴隷も、あなたと同じように休息できる。

11 六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。

11 主は六日のうちに、天と地と海と、そこにあるすべてのものを造り、七日目に休息された。それゆえ、主は安息日を祝福して、これを聖別されたのである。

15 あなたはかつてエジプトの国で奴隷であったが、あなたの神、主が力ある御手と御腕を伸ばしてあなたを導き出されたことを思い起こさねばならない。そのために、あなたの神、主は安息日を守るよう命じられたのである。

15 あなたはエジプトの地で奴隷であったが、あなたの神、主が、力強い手と伸ばした腕で、あなたをそこから導き出したことを思い出しなさい。そのため、あなたの神、主は、安息日を守るようあなたに命じられたのである。

12⑤ あなたの父母を敬え。 そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生きることができる。

12⑤ あなたの父と母を敬いなさい。 そうすればあなたは、あなたの神、主が与えてくださった土地で長く生きることができる。

16⑤ あなたの父母を敬え。 あなたの神、主が命じられたとおりに。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えられる土地に長く生き、幸いを得る。

16 あなたの神、主が命じられたとおりに、**⑤あなたの父と母を敬いなさい**。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えてくださった土地で長く生き、幸せになることができる。

→子には両親の世話をし、尊敬することが期待された（レビ記 19：3、20：9、申命記 27：14～26）。この命令には祝福の約束が明記されている。

→マタイ 15：4、19：19、マルコ 7：10、10：19、ルカ 18：20、エフェソ 6：2

13**⑥**殺してはならない。

14**⑦**姦淫してはならない。

15**⑧**盗んではならない。

13**⑥**殺してはならない。

14**⑦**姦淫してはならない。

15**⑧**盗んではならない。

17**⑥**殺してはならない。

18**⑦**姦淫してはならない。

19**⑧**盗んではならない。

17**⑥**殺してはならない。

18**⑦**姦淫してはならない。

19**⑧**盗んではならない。

→殺してはならない：正当な理由がなく殺すことを禁じるのであり、どんな理由があろうと命を奪ってはならないということを意味しているのだなない。

→盗んではならない：誘拐、人を奴隷に売る等の重罪を意味している。

16**⑨**隣人に関して偽証（→噂を広める、嘘の証言をする、出エジプト 23：1）してはならない。

16**⑨**隣人について偽りの証言をしてはならない。

20**⑨**隣人に関して偽証してはならない。

20**⑨**隣人について偽りの証言をしてはならない。

17**⑩**隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。」→ねたみや貪欲などの思いと行動を指している。

17**⑩**隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隷、牛とろばなど、隣人のものを一切欲してはならない。」

21**⑩**あなたの隣人の妻を欲してはならない。隣人の家、畑、男女の奴隷、牛、ろばなど、隣人のものを一切欲しがってはならない。」

21**⑩**隣人の妻を欲してはならない。隣人の家、畑、男女の奴隷、牛とろばなど、隣人のものを一切食ってはならない。』

⑩カトリック等は、①妻と②隣人のものを欲するな、の二つに分けている。

【参考】聖書にある「十戒」

▶モーセの勧告（申命記 4：13）

主は契約を告げ示し、あなたたちが行うべきことを命じられた。それが**十戒**である。主はそれを二枚の石の板に書き記された。

▶再び戒めが授けられる（申命記 10：4）

主は、集会の日に、山で火の中からあなたたちに告げられた**十戒**と全く同じものを板に書き記して、それをわたしに授けられた。

⑩十戒は、行いによる救いを教えたものではありません。それは、神の恵みによってエジプトからの解放を経験したイスラエルの民に、いかに生きるべきかを教えたものです。

【参考】契約の石板、十戒

出エジプト記 34 : 27~28 → 「戒めの再授与」の中のみ言葉

主はモーセに言われた。「これらの言葉を書き記しなさい。わたしは、これらの言葉に基づいてあなたと、またイスラエルと契約を結ぶ。」モーセは主と共に四十日四十夜、そこ（→シナイ山）にとどまった。彼はパンも食わず、水も飲まなかった。そして、十の戒めからなる契約の言葉（→十戒、十誡）を板（→石板=ヘブライ人への手紙 9 : 4）に書き記した。

契約の言葉は、契約の条件とも言えます。つまり、契約条件とは、権利・義務関係の発生・変更・消滅に関する当事者間の具体的な契約の詳細内容のことです。

十戒に記されている条件をすべて守らなければ、つまり、10の全条件が満たされなければ、契約は成立しないのです。この条件を満たすことが不可能な私たち（罪人）の代わりに、イエス・キリストがこの地上に人間として来られました。イエス・キリストは、十戒のすべてを守られることによって、契約の言葉を完全に成就されたのでした。

→マタイによる福音書 5 : 17~18

「わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っ**て**はならない。廃止するためではなく、完成するためである。はっきり言うておく。すべてのことが実現し、天地が消えうせるまで、律法の文字から一点一画も消え去ることはない。

十戒=愛です。

十戒の第1条から第4条を守ることは、「神への愛」を表し、第6条から第10条を守ることは、「隣り人への愛」を表します。

→マタイによる福音書 22 : 37~40

イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。』

聖書は、神が神の民と「新しい契約を結ぶ」ことを約束しています。その新しい契約とは、「わたしの律法を彼らの思いに置き、／彼らの心にそれを書きつけよう」という約束です。

→エレミヤ書 31 : 31~33

見よ、わたしがイスラエルの家、ユダの家と新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。この契約は、かつてわたしが彼らの先祖の手を取ってエジプトの地から導き出したときに結んだものではない。わたしが彼らの主人であったにもかかわらず、彼らはこの契約を破った、と主は言われる。しかし、来るべき日に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこれである、と主は言われる。すなわち、わたしの律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心にそれを記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

→ヘブライ人への手紙 8 : 8~10

事実、神はイスラエルの人々を非難して次のように言われています。『見よ、わたしがイスラエルの家、またユダの家と、／新しい契約を結ぶ時が来る』と、／主は言われる。『それは、わたしが彼らの先祖の手を取って、／エジプトの地から導き出した日に、／彼らと結んだ契約のようなものではない。彼らはわたしの契約に忠実でなかったので、／わたしも彼らを顧みなかった』と、／主は言われる。『それらの日の後、わたしが／イスラエルの家と結ぶ契約はこれである』と、／主は言われる。『すなわち、わたしの律法を彼らの思いに置き、／彼らの心にそれを書きつけよう。わたしは彼らの神となり、／彼らはわたしの民となる。

→ヘブライ人への手紙 10 : 15~17

聖霊もまた、わたしたちに次のように証ししておられます。『それらの日の後、わたしが／彼らと結ぶ契約はこれである』と、／主は言われる。『わたしの律法を彼らの心に置き、／彼らの思いにそれを書きつけよう。もはや彼らの罪と不法を思い出しはしない。』

神の愛の力によって、私たちの罪深い思いや心は徐々に変えられていき、十戒のすべてを守ることを可能にくださるのです。これこそが、罪の奴隷である私たちを、罪の支配から救ってくださるという福音であり、その驚くべき神の愛の約束がこの契約の言葉である契約の石板に込められているのです。